

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所

第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



The Magic of Rotary



第1663回例会 令和6年8月1日(木)

【会長の時間】

高田 富康

皆さん、こんにちは。先日かなりの風をともなった雨が降りました。私のお客さんですが、古い家なのですが、2階の小屋の一部分が風で飛ばされました。それが近くの駐車場に停まっている5台の車を傷つけてしまいました。そして保険で直せるかどうかという相談がありました。



個人の賠償責任という保険に入っていれば、保険金が出る可能性がありましたが、入っていませんでした。自転車とか日常レジャーの時に相手にケガをさせたり、壊した時に支払われます。警察から連絡があったそうで、最終的には弁護士を入れる事になると思います。火災保険は風の害で保険金は出ます。ただ、共済の保険は火事だけなので、自然災害の場合には出ない事が多いですが、民間の保険については出ると思います。

保険はずるいところがあり、想定外に物事が起きた時には保険金が支払われないという事があります。以前、千葉でゴルフ練習場のポールが倒れて、近所の家に損害を与えた事がありました。これは想定外という事で支払われませんでした。

今回の場合、今後の対応が大変なので、弁護士に依頼した方が良いのではないかとアドバイスを受けました。本人も大変なショックを受けていると思いますが、お金は掛かると思いますが、自分で関わると大変な神経を使い、ストレスになるのではという話をしました。本当に何が起きるか分からないと思いました。

この場合、被害者が車両保険に入っていたらそれを使う事は出来ます。他の物が飛んできて車を傷つけた場合は、保険金は出ますが、被害者の方は使うと保険料が上がるという事で、使わないと思いますので、専門家にお願いするのが良いと思います。

私も以前お金のトラブルがあったのですが、弁護士に依頼して決着する事が出来ました。皆さんも何かあった場合には、専門家に頼むのが良いと思います。

【幹事報告】

畝 徳治



1. 米山梅吉禁煙館訪問研修旅行の案内

プログラムについてですが、来週は外部卓話という事で、写真関係の人に来て頂く事になっています。

今年度米山記念奨学生は秩父音頭まつりには参加しないという事です。

【プログラムについて】

8月	1	木	通常例会(会員卓話)	理事役員会
	8	木	通常例会(外部卓話)	
	15	木	休会	
	22	木	休会	
9月	29	木	親睦夜間例会	養浩亭
	5	木	通常例会(会員卓話)	理事役員会
	12	木	ガバナー補佐訪問	
	19	木	ガバナー公式訪問へ振替	9月24日
	26	木	休会	

会員卓話



山田 利明会員

今日は私の仕事の話と自然の話をしたと思います。私は、都市計画法の開発許可の仕事を中心にやっています。開発許可という事で、なぜこういう法律があるかと言うと、開発許可とは災害を無くす設計です。災害が起これないように開発する場所

を設計する方法で、これは自然に合わせると災害は起こりません。

例として、京都についてお話しします。大都市に災害があつては困ります。風水で昔は決めました。風水は蔵風と気の水をよむという事で、北風は嫌な風ですが、そよ風と命の入っているきれいな水があれば、命は永遠に栄えるという事で、ここに年を持ってくると、永遠に栄えるという事で中国から入ってきています。

簡単には、京都は奈良から遷都されました。移した時にお宮を気の噴結点に来るような位置に持ってくるという事で京都を選びましたが、

誠に風水に合った地形になっています。北に北山といういろいろな山があります。東に東山、西に嵐山という少し低い山があります。北に高い山があり、低い山で周りを囲むと中は風が吹かない安定した地形になります。その山に雨が降って、地中に染み込んで、井戸が沸いて来る所が、自然の作用ですが、地球は太陽と月などから出来ているので、雨や風が大切です。

当時は砂防技術など土木工事ですごい事は出来ないの、自然に合わせていく事を選びました。京都は北からだんだん南に動いています。山が北にあり、両側に低い山があると、その間から山に降った雨が水となって流れてきます。その北の山の山脈の高い所から南から下りてきて、中央の宮が低くなると。龍に例えて、北から龍の体が来て、龍の頭が中央の宮の直前で止まるというように例えています。東西は龍の腕に囲まれて安全であるという事です。龍の水が出てきた所は、気の入った水が宮で噴結して、命の元になります。

古来より都市計画に用いられてきた風水の方法。龍脈と呼ばれる山々の流れや、水龍と呼ばれる川の流れなどから、風水上の好立地を探し出す。これが地理風水です。

京都はまったくきれいにそれが出来ています。そして、災害が起こらない場所に宮をつくってという事です。中央の宮は京都御所です。京都駅の方へ下ると、東寺、西寺があります。京都駅から東寺、西寺の間を北に向かうのが参道です。京都御所は天皇が住む所ですから、日本の命の基ですので、宮は気の噴結点作り、良い子供をつくると、永久に人間も都も盛えるという事になります。

南は、玄武の北の山から鴨川と桂川が合流して淀川になって流れています。甘南備山の方向に流れて、海に注ぎます。北から命の水が来て、南に向かって、命から汚れた物が出るので、それを南に流していくというのが、自然になります。京都は地形的に風水で理想的です。東山の下、南東の方向（巽の方角）から京都盆地に入ると、そよ風と言って、作物も育つ。人間も作物も良く育つ。そよ風を都は読まなくてはいけなくて、そよ風の事を蔵風と言います。

気の入った水の噴結点を探す事と、そよ風を探す事を風水と言います。そこで人間も自然も災害が起きずに永久に栄えるという地形を昔の人は探しました。京都は理想的な姿で、京都の盆地は平らですが、地形的に調べると、下が深いです。水瓶のようになっているそうです。そこに天皇の住まいを作って、人間の元を作っていけば永久的に続く事になります。

開発で自然災害を無くすというのは、地形を見て、開発しないといけないという事です。最近、豪雨による災害を見ると、山を切り崩した側に家を建てると山が崩れて家が潰れたりしています。昔はこういう事は無かったです。

京都は1200年前に都が出来ましたが、あまり災害はありません。無理に山を削ったりしていないからです。方位的に言うと、丑寅の方向は、寒い風が吹く方向です。艮ですが、表気門ですが、ここから寒い風が来ると、お宮が冷え

て病人が出るとかあります。京都はここに延暦寺を建てています。延暦寺は鬼門を防ぐお寺です。

東京も風水でつくっています。秩父山地が西山、東が千葉の筑波山、北が日光の方向。前は海です。京都が一番分かり易いので参考にして我々開発許可をする人間は、基本的にはこのような事を考えています。そこには予算等があります。なかなかこの通りにはいきませんが、京都を考えると、災害のない場所が出来ます。自然の地形を知らないと、我々のような建築、土縛に関係する人間は、それを知る事が大事です。コンクリートで大きなダムを造っても自然には勝てませんので、自然になじませる事が大事だと思います。

堤防が決壊しますが、40年くらい前には、雨は1時間に100ミリの想定で造っています。100ミリの雨はかなりすごいです。この辺は荒川にすべて集まります。それが短時間になるので、すごい量になります。それが今は120ミリとか降ります。市街地は側溝では30ミリから50ミリを想定しています。側溝に流せば、下が溢れて災害になります。今の開発設計は、流さずに浸透させるようになっています。

本来は京都のように災害のない場所を探して、住めばいいのですが、人口が増えたので、それも出来なくなり、山奥に行って、山を崩したりして家を建てています。崩れるという想定で、家を考えたり、造成を考えたり、逃げる所を考えていた方がいいと思います。

大雨や洪水は人間が悪く、太陽が地球の音頭を上げて、蒸気が地球にあふれ、それを冷やすために雨が降ります。二酸化炭素の出し過ぎと言われてはいますが、人間が暮らし良くするためにそうしてしまったので、これからは自然になじむ事が必要かと思えます。

結果的には自然になじめば災害はあまり起きないという事です。昔の人は地理、太陽を月を読んだりして、夏はこうして、冬はこうしてとしてきたので、あまり災害はなかったのだと思います。

京都の地図ですが、これは人間に例える事が出来ます。女性は中央は子宮があるので、大事にすれば、子孫が栄えると。東寺、西寺の間の参道を行くと、宮城があります。琉球の隠宅は墓地ですが、丸い所に一族が集まっています。子宮に戻すという意味だそうです。仏教の配置ですが、東から西へと人生は移行するという事です。

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
7	0	3	0	42.9%